

# 注意報

20病第29号  
平成20年7月25日

各農業改良普及センター所長 様  
各農業協同組合長(営農担当者) 様  
各病虫害調査協力員 様  
各関係機関長・団体長 様

京都府病虫害防除所長  
(公印省略)

## 病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

### 発生予察注意報第1号

作物名 **水 稻**  
病虫害名 **斑点米カメムシ類**

- 1 発生地域 **府内全域**  
2 加害時期 **出穂後収穫期まで**  
3 発生量 **平年比やや多い**  
4 防除時期 **穂揃期及び傾穂期**  
5 注意報発令の根拠

- (1) 7月中旬に行った水田内のすくい取り調査の結果、確認ほ率・平均虫数は府全体で20.6%・0.5頭であり、平年比やや多い発生であった。府内各地の水田内における発生状況は表1のとおりである。なお、主要な発生種は、トゲシラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメであった。
- (2) 7月中旬に行った畦畔雑草すくい取り調査の結果、確認地点率・平均虫数は府全体で41.2%・6.5頭であり、平年比やや多い発生であった。府内各地の畦畔雑草における発生状況は表2のとおりである。なお、主要な発生種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、シラホシカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシであった。特にアカスジカスミカメが、府内各地で高率に捕獲された。
- (3) 予察灯への誘殺数(6月第4半旬~7月第3半旬までの1ヶ月間の合計値)は、アカヒゲホソミドリカスミカメが亀岡市で168.0頭(平年:50.9頭)と平年比多く、京丹後市弥栄町で74.0頭(平年:133.3頭)と平年に比べやや少ない値であった。また、アカスジカスミカメは亀岡市で39.0頭(平年:41.0頭)、京丹後市弥栄町で86.0頭(平年:72.4頭)と平年並の値となっている。

表 1 斑点米カメムシ類の調査結果(7月中旬 本田20回振りすくい取り) 単位:%、頭

年	府内全域		山城地域		南丹地域		中丹地域		丹後地域	
	確認 ほ率	平均 虫数	確認 ほ率	平均 虫数	確認 ほ率	平均 虫数	確認 ほ率	平均 虫数	確認 ほ率	平均 虫数
20年	20.6	0.5	28.6	0.4	20.0	1.0	28.6	0.3	10.0	0.1
平年	16.7	0.3	15.2	0.3	16.9	0.3	27.5	0.5	11.2	0.2
19年	20.6	0.2	28.6	0.3	0.0	0.0	42.9	0.6	20.0	0.2
18年	14.7	0.3	0.0	0.0	30.0	0.8	28.6	0.4	0.0	0.0
17年	20.6	0.4	42.9	0.6	20.0	0.2	14.3	0.7	10.0	0.4

表 2 斑点米カメムシ類の調査結果(7月中旬 畦畔20回振りすくい取り) 単位:%、頭

年	府内全域		山城地域		南丹地域		中丹地域		丹後地域	
	確認 地点率	平均 虫数	確認 地点率	平均 虫数	確認 地点率	平均 虫数	確認 地点率	平均 虫数	確認 地点率	平均 虫数
20年	41.2	6.5	57.1	13.3	50.0	10.8	57.1	2.9	10.0	0.1
平年	46.4	4.6	57.1	8.5	49.6	3.6	48.6	3.0	33.3	4.0
19年	41.2	2.6	42.9	3.1	40.0	1.2	57.1	6.9	30.0	0.5
18年	67.7	16.1	71.4	17.1	70.0	8.9	42.9	5.9	80.0	29.8
17年	64.7	5.8	85.7	9.0	90.0	10.9	42.9	1.0	40.0	1.8

## 6 防除上の留意事項

### (1) 耕種的防除

水田周辺のカメムシ類の生息密度を下げるためには畦畔の草刈りが有効である。しかし、出穂期に近づきすぎてから行くと、カメムシ類を水田に追い込み、かえって逆効果となる。そのため、**必ず出穂の10日前までに草刈り等を済ませる。**

現在、カメムシ類の発生が少ない地域でも、雑草管理には十分注意する。

水田内のイネ科雑草は、カメムシ類の水田への侵入を助長するので出穂前に除草する。

### (2) 農薬による防除

斑点米の発生を減らす観点からは、カメムシ類を対象とした薬剤による防除を穂揃期と傾穂期の2回行うことが望ましい。

粒剤を使用する場合は、各薬剤の散布適期を確認する。

散布に当たっては周辺作物に飛散しないよう十分注意する。

農薬の選択に当たっては農協等と相談し、使用基準を遵守して適正に使用する。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)を参照のこと。